

国土交通省鉄道局長

五十嵐 徹人 様

参考送付

つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟会長

衆議院議員 葉梨 康弘 様

東京都都市整備局長

谷崎 馨一 様

つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の
一体的整備に係る協議の場の設置に関する要請

令和8年7月24日

つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の

接続事業化促進期成同盟会

会長 守谷市長 松丸 修久

つくばエクスプレス（以下「TX」という。）の東京駅延伸と、都心部・臨海地域地下鉄（りんかい線及び羽田空港アクセス線と連携し、羽田空港に接続）の両鉄道路線につきましては、平成28年及び令和3年の交通政策審議会の答申において、その一体的整備を検討すべきことが記載され、このうち、都心部・臨海地域地下鉄に関しましては、東京都が、令和22年までの実現に向け、令和6年、整備主体及び営業主体の予定者を決定し、3者で事業計画の検討を加速することを発表されました。

このような状況を受け、当期成同盟会におきましては、国によるさらなるリーダーシップの発揮を期待し、4月6日、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟に要請して、両鉄道路線を含むインフラの整備を、高市内閣が策定する国の成長戦略の中に位置づけるべきことを決議していただき、その後、同議員連盟とともに、関係大臣への粘り強い要請活動を行って参ったところでございます。

その結果、7月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2026」において、国が一步前に行き出す投資促進策である「戦略産業クラスター計画」の中に「鉄道の整備」が盛り込まれ、「日本成長戦略」にも、整備・機能強化すべき「鉄道」に、TXなどの「都市鉄道」を含むことが明記されましたことは、当期成同盟会にとりまして大きな希望であり、英断に対し心より敬意を表する次第でございます。

両鉄道路線は、一都三県にまたがる鉄道路線であり、その一体的整備を前に進めるに当たっては、関係都県・市区を中心とする多様な関係者間の広域的な連絡・調整が不可欠であるとともに、我が国の成長に資するという観点から、国家的な視点からの、事業効果や事業スキームの検討が必要であり、まさに今、「国が一步前に出る」ことが求められております。

当期成同盟会といたしましても、引き続き両鉄道路線の接続事業化に向けた活動に全力を尽くしてまいります所存でございますが、国におかれましても、下記のとおり協議の場を設置いただき、関係者間での幅広い議論を行うことができる環境を整備していただくよう、強く要請させていただきます。

記

国において、両鉄道路線の一体的整備に係る協議の場を設置いただくとともに、当該協議の場において、関係都県・市区等の関係者間での、円滑な合意形成のための継続的な議論が行われるよう、国としての支援を行っていただくこと。

つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の
接続事業化促進期成同盟会

会 長	守谷市長	松 丸 修 久
副会長	流山市長	井 崎 義 治
副会長	三郷市長	木 津 雅 晟
副会長	中央区長	山 本 泰 人
会 員	つくば市長	五十嵐 立青
	つくばみらい市長	小 田 川 浩
	柏市長	太 田 和 美
	八潮市長	大 山 忍
	足立区長	近藤 やよい
	荒川区長	滝 口 学
	台東区長	服 部 征 夫
	茨城県知事	大井川 和彦
	千葉県知事	熊 谷 俊 人
	埼玉県知事	大 野 元 裕